

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ユニバーサルスクール（保育所等訪問支援）		公表日	令和8年2月16日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3		アセスメント、保護者の要望、学校側の様子など、細かく聞きとりをして実施している。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		基本2人で学校に行っているのが、適切であると思う。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		聞き取り、報告、支援計画、モニタリングなど広く職員が参画している。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		保護者との連携を密にとり、業務改善につなげている。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		会議などで報告をして、職員の意見交換などを行い、改善につなげている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1	必要に応じて、保護者や関係機関からの意見も取り入れ、支援内容や体制の見直しにつなげている。	第三者による外部評価を定期的実施し、評価結果を業務改善に反映させる仕組みの整備が課題である。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	3		研修、会議などで機会を確保している。	
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		保護者や児童に対してアセスメントを行い作成している。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		共通理解の上で最善の考慮をしている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		十分に連携をとり意向を盛り込んでいる。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		共有して支援を行っている。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		関わるスタッフや、保護者への聞き取りで、アセスメントを作成している。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3		具体的内容を踏まえながら、具体的に支援内容を設定している。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		十分に共有して計画に沿って支援をしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		支援開始前には、アセスメントや状況を把握して連携している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	3		振り返り、報告、気づいた点の報告は必ず行っている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		訪問先との連携を大事にして、状況や支援方法を尊重している。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3		アセスメント、学校での様子など事細かく記録をとり、保護者向けのネット上のページに残している。		

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		見直しや確認を十分に行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		児童の様子をよく知るものが、全体に聞き取りした上で、担当している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		学校や教育委員会と連携して体制を整えている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		3	現在は該当する事例はないが、今後必要となった場合に備え、就学時の移行に関する情報共有や連携の在り方について理解を深めている。	現時点では該当する事例がないため、実践的な経験の蓄積が十分ではない点が課題である。今後、就学時の移行支援が必要となった場合に備え、具体的な対応方法や連携手順について、あらかじめ整理していく必要がある。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	1	専門家からの直接的な助言の機会は限られているが、外部研修や関係機関との情報共有を通じて、専門的な知見を支援に活かすよう努めている。	専門家からの助言を受ける機会が十分とは言えないため、今後は外部研修や専門機関との連携を含め、専門的な視点をより計画的に取り入れる体制づくりが課題である。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3		参加できるものが参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3		送迎の際や、ライン、ネットのメッセージで毎日の様子を伝えている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		半年に1回の懇談の場面で、保護者からの要望があれば、助言をするようにしている。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	1	契約時など契約書に基づき、丁寧な説明を行っている。	
保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3		訪問する前に内容を伝え、事前に話し合いを行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		依頼を受けてからアセスメントをしっかりと、意向を確認している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3		事前に支援内容を説明して、同意を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3		懇談時やお迎えの時、メール等で相談があった時は、電話連絡や、面談を通して助言を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3		保護者交流会を行い、交流の機会を設けている。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		迅速かつ適切に対応している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1	毎月、スクールだよりを配布して、保護者に対して発信している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		事前に聞き取りをして、写真の扱いなど、留意している。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		ライン、電話、送迎時の意思疎通を常に配慮している。	
訪問先	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3		常に体制を整え支援を行っている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3		訪問先の先生と、その後の変化などお互いに情報共有するよう努めている。	

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		面談を行い、内容や、支援について共有をしている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		学校では、全体のお子さんをみるようにして、本人の負担にならないように配慮している。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3		電話で、今の状況を伝えあったり、信頼関係を築いている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		会議で話し合ったり、毎月、ご利用時間に、子どもたちと避難訓練や、学習会を実施している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		安全管理には、充分留意している。消防署より、職員の方に来ていただき、安全のための研修を実施している。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		毎日の報告、打ち合わせ、反省会を行っている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		会議で虐待防止の研修を行っている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	1	身体拘束はしないので、記載はしていない。	